

議事録

会議等の名称	第2回東御市病院等運営協議会	開催日時	令和3年11月8日 13時～14時20分
		場 所	東御市民病院 2階研修室
主催者(事務局)	東御市民病院	司会者	岩下事務長
出席者	<p>○委員 武藤会長、安保副会長、清水委員、窪田委員、高木委員、佐々木委員 宮下委員、原澤委員</p> <p>○市(事務局) 花岡市長、岩橋院長、新納副院長、奥泉診療所長、黒澤助産所長 岩下事務長、柳澤医療事務部長、大塚庶務係長、渡辺副主幹</p>		
欠席者	<p>中山委員、酒井委員 田丸副市長</p>		
討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)	
開会	安保副会長		
会長あいさつ	武藤会長		
市長あいさつ	花岡市長		
会議事項			
(1) 令和2年度決算 の状況について	安保副会長	助産所とうみの24時間無料電話相談についてはどのようにやっているのか。外注しているのか、職員が24時間対応しているのか。	
	黒澤助産所長	夜間も分娩対応のために職員が常駐しており、その職員が電話対応をしています。	
	佐々木委員	補助金などで新しく購入した機械等はあるか。	
	事務局	医療機器の購入に対する補助金を活用し、超音波画像診断装置、X線透視撮影装置、等温遺伝子増幅装置、人工呼吸器等を購入しました。	
	佐々木委員	CTの数を増やす考えはないか。	
	事務局	CTに関しては増やすことは考えていません。 温泉診療所においても、今のところ考えてはいません。	
	宮下委員	薬剤フォーミュラリーの作成について、信州うえだ医療センターなどと一緒を進めてもらえると、地域フォーミュラリーとなって上田地域で薬剤の削減につながるので、連携をとってもらいたい。	

<p>会議事項</p> <p>(1) 令和2年度決算の状況について</p>	武藤会長	<p>インシデント発生件数の増加対策ということで、委員会を立ち上げて取り組んでいくということだが、事例検討会を行い、重大な事例について多職種連携で議論して要因分析し、具体的な改善対策を講じていく作業を積み上げていくことが有効なので、早急にすすめてもらいたい。</p> <p>また助産所については、社会情勢からも大変厳しい状況かと思う。対策としてホームページの見直しが挙げられているが、例えば助産所で生まれた赤ちゃんの誕生日にお祝いメッセージを所長名で出してみるとか、メッセージ性を継続して発信する工夫があってもよいと思う。</p>
	窪田委員	ホームページで、市民病院の外来担当医表が7月1日から更新されていないが、その辺の管理も必要。
	原澤委員	令和2年度、病床稼働率が低下したのは、コロナ患者受入病床を確保したためか。
	事務局	そのとおりです。
	安保副会長	助産所に関して、一般の人にとって助産師の仕事はどのようなことをするのか分からないと思うので、もっとアピールしたほうがよい。
<p>(2) 令和3年度業務の状況について</p>	高木委員	レスパイト入院について、家族の介護疲れなどでの利用という認識であるが、レスパイト入院の枠や決まり事などはあるのか。例えば病床数何床と決まっているのか、入院期間の制限等はあるのか。
	新納副院長	レスパイト入院は介護疲れや冠婚葬祭などがあるときのお預かりになりますが、2週間くらいの期間としております。なお、受入れ人数の制限はありません。
	原澤委員	患者満足度向上の取組みを始めたとのことだが、この評価はどのように行うのか。
	事務局	サービス向上委員会でアンケート調査を実施し評価をしていく予定でおります。アンケートの内容につきましては現在精査中です。
	清水委員	市民病院入り口に不織布マスクの張り紙があるが、この張り紙どおりだと不織布マスクを着用していないと院内に入ってはいけないのか。それとも持っていない場合は、病院側で用意してくれるのか。
新納副院長	不織布マスクの効果というのがはっきりと分かってきましたので、出来るだけ病院に入る場合については不織布マスクでお願いしたいといったご案内をしております。布マスクで来て不織布マスクを持っていないという方には売店でのご購入をお願いしますが、難しいということであれば差し上げることもしております。	

<p>会議事項</p> <p>(3) 令和4年度事業方針について</p>	<p>窪田委員</p>	<p>上小地域の産婦人科医の確保がこの地域のお産の状況に非常に影響を与えらると思うが、近隣の状況が分かれば教えていただきたい。</p>
	<p>黒澤助産所長</p>	<p>上田市内で多くの分娩数がある施設でもかなり減っているという話を聞いています。また佐久医療センターでもかなり分娩数が減っているとのことでした。また上田市産院では、産婦人科医を確保することが難しい状況にあるということ、当助産所に説明に来たことがありましたので、上田圏域では産婦人科医の確保は難しい状況かと思われます。</p>
	<p>花岡市長</p>	<p>助産所とうみの位置づけもだいぶ変わってきているが、助産師たちが市内に出て行って、妊娠、出産、子育てにかかわっていくなど、財政的には非常に厳しいものがありますが、市全体で今後の果たすべき役割を模索していけたらと思います。</p>
	<p>安保副会長</p>	<p>病院で発行している「ひまわり」ですが、市役所にも是非置いていただければと思います。また大きな公民館などにも置いて、市民の目に届くようにしていただければと思います。</p>
	<p>事務局</p>	<p>「ひまわり」ですが、発行部数が限られ、関係するところにか配布できていませんが、市役所には置くとともに、ホームページからダウンロード出来るようにしたいと思います。</p>
	<p>武藤会長</p>	<p>人材育成で市が医学生をサポートしている件で、奨学生に病院に積極的に来てもらうなど関わりをもち、将来に結びつくようになればよいと思うが、令和4年度に向けて具体的な方策はあるか。</p>
	<p>岩橋院長</p>	<p>令和4年度では内科で感染症専門の医師が義務年限となり、勤務する時期に来ています。専門医の取得や本人の希望もあり1年間は週1日の外来と当直を行いその次の年に常勤として来たいという希望がありますので、準備をすすめています。また、これから先、1、2年くらいに間に義務年限を迎える医師が出てきますので、当院にどう貢献してもらえるかということを考えていきます。</p>
<p>閉会</p>	<p>安保副会長</p>	